

製品名: ERK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00006**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK1
別名	ERK; p38; p40; p41; ERT1; MAPK2; PRKM1; P42MAPK; p41mapk; MAPK
遺伝子 ID	5594
SwissProt ID	P28482
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

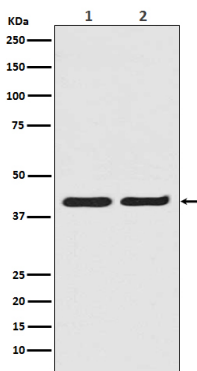
複数の生化学シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。ERK2の活

性化には、上流のキナーゼによるリン酸化が必要です。ERK2は休止期細胞の細胞質に存在し、細胞外刺激を受けると二量体の能動輸送によって核に移行します。ERK2は胎盤の発達に必須であり、栄養膜区画におけるERK2は迷路の血管新生に不可欠であると考えられます。

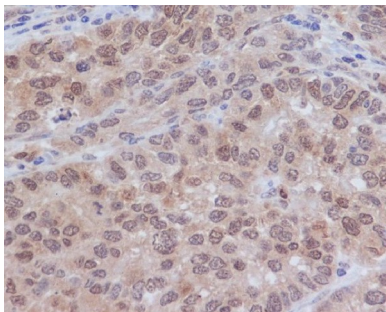
研究分野

神経科学

画像データ



(1) A431 溶解物、(2) ERK2 抗体を用いた HeLa 溶解物中の ERK2 のウエスタンブロット分析。



ERK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。